

## 「サニーデイ・サービス 曾我部恵一展 Lovers of words」

### の実施報告について

- 1 開催期間：2025年10月18日（土）～12月21日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：3,580人／56日間（1日平均：63.9人）  
（有料観覧者：2,259人 無料観覧者：1,321人）
- 4 協力：ROSE RECORDS
- 5 開催報告

音楽における“<sup>ことば</sup>詞”をテーマに、文学性の高い詞を書くシンガーソングライターとして評価を得ている曾我部恵一氏の展覧会を開催しました。

プロローグでは、曾我部氏が町田駅周辺で作品を朗読している映像を上映することで、ひとつひとつは関係性の希薄な“ことば”が紡がれていくことで意味を持っていく感覚を表現しました。第1・2・4章では曾我部氏自身が選んだ22曲の“詞”を活動時期に分けて展示したほか、創作ノート、レコード、CD、ギター、音楽機材、絵などを展示しました。第3章では「Lovers of words ことばを愛する人たちへ」と題し、来場者が歌詞のREMIXに挑戦するコーナーを設置し、786作品が集まりました。また、会場の一角に曾我部氏の自宅の創作スペースを再現。自宅から大量に持ち込まれた本で埋められた本棚は圧巻で、雑誌「BRUTUS」の本棚特集号（12月15日号）にも掲載されました。

展覧会には、40代・50代を中心にコアなファンが全国から足を運び、満足度も大変高い評価を得ることができました。来館者アンケートでは、「学生時代にずっときいていた曾我部さんの音楽を別の角度から感じる事ができた」「“詞”の展示ってどんなものなのかなと思っていましたが、曾我部さんの世界にどっぷりつかることができてとっても満足度が高い」「曲＋歌詞でなく純粋に『詞』に注目し、素晴らしさを再確認した」「今まで以上にことばを意識して曲をきこうと思う」「REMIXが楽しかった」「丁寧に作られた展示がとても素敵だった」など、本展の意図が伝わったと感じられる感想をいただきました。

### (1) 関連事業

実施日	タイトル	参加人数
11月2日	曾我部恵一 Live&トーク	179人
11月23日	北沢夏音講演会	63人
11月14日	「ドキュメント・サニーデイ・サービス」	65人
12月7日	映画上映会	70人
12月20日	曾我部恵一×谷川由里子 記念対談	144人
10月25日	展示解説	28人
11月24日		23人
12月21日		70人
会期中	曾我部恵一の歌詞を REMIX	786枚

### (2) 資料

歌詞 25 曲、創作ノート 44 冊、絵・イラスト、レコード、CD、愛蔵本、ギター、音楽機材など 約 120 点

### (3) パブリシティ

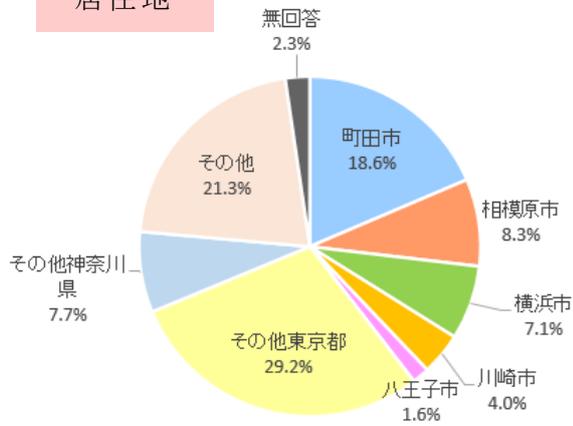
- ・ J-Wave 「GRAND MARQUEE」、コミュニティ FM、雑誌「BRUTUS」「東京人」、Web マガジンなど音楽系の媒体で多数紹介されました。
- ・ 曾我部恵一氏のレーベル、ROSE RECORDS の運営する SNS、HP など で展覧会情報を発信していただきました。
- ・ 展覧会の映像制作を担当した Summery Birds Cakes Films の櫻井潤氏が展覧会のメイキングビデオを制作し、公式 Instagram で公開しました。

### (4) 来館者アンケート

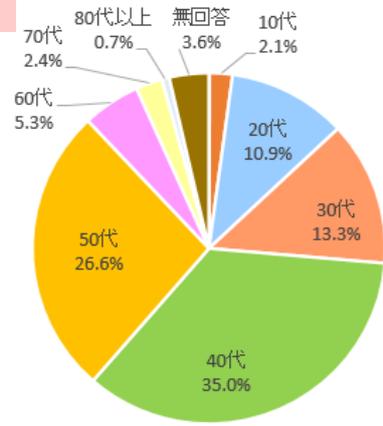
来場者は 40 代の女性が最も多く、東京都内（町田市を除く）からの来場者が目立ちました。約 7 割が初めての来館であり、新規顧客の獲得に成功しました。大満足と満足を合わせると約 92.8%となり、展示に対する評価は非常に高かったことが分かります。特に展示内容の資料性・発見性・テーマ性が来場者に響いたことがうかがえます。また、感想からは、総合満足度が極めて高く、コアファン層の厚い支持があったことがうかがえました。

## 【集計結果】

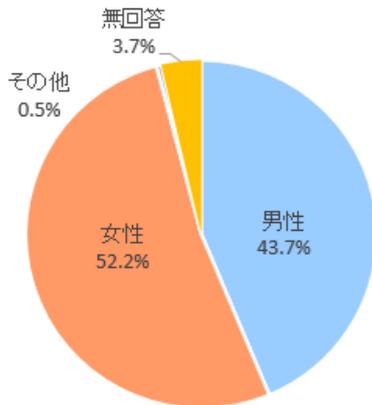
### 居住地



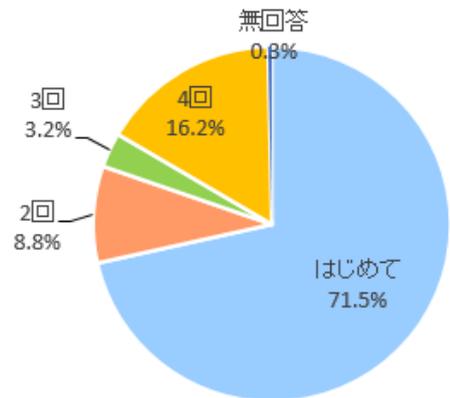
### 年代



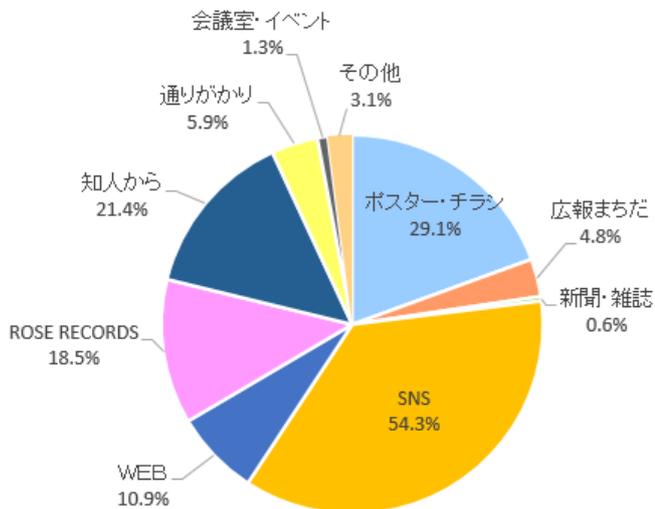
### 性別



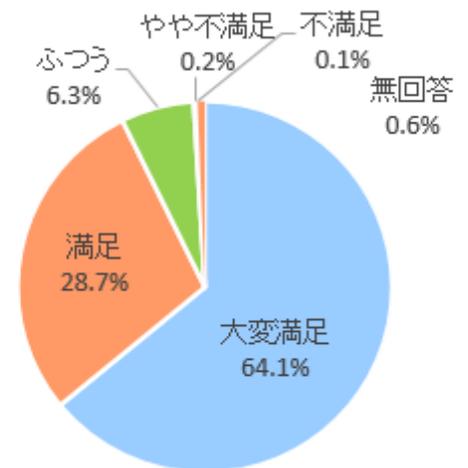
### 来館回数



### 何で知ったか



### 満足度





プロローグ



第1章「星を見たかい?」「若者たち」



第2章「創作ノート」



ふみくら「自宅の創作スペースを再現」



第4章「ふたつのハート」